



海客常存信

安在常存信

寫意心身及後世

新筆入生服

信無非心書

入心身之白一

信無非心書

入心身之白一

安在常存信

寫意心身及後世

新筆入生服

信無非心書



吾無此心者
名は信の修
ふ女は信もさ
まう亭と歎
年介ら然
名將海
遊の意公
年公と
寫集名
の門遊す
公可つ
と女

とあるは、
昔の

ゆゑに、
は

子、
は

漢書、
今

の、
は

界、
は

地、
は

か、
は

と、
は

法、
は

六、
は

正、
は

大、
は

字之寶具

六月四日

杉山茂丸

大隈侯書版

百六十五

牛込區早稻田

侯爵大隈重信殿

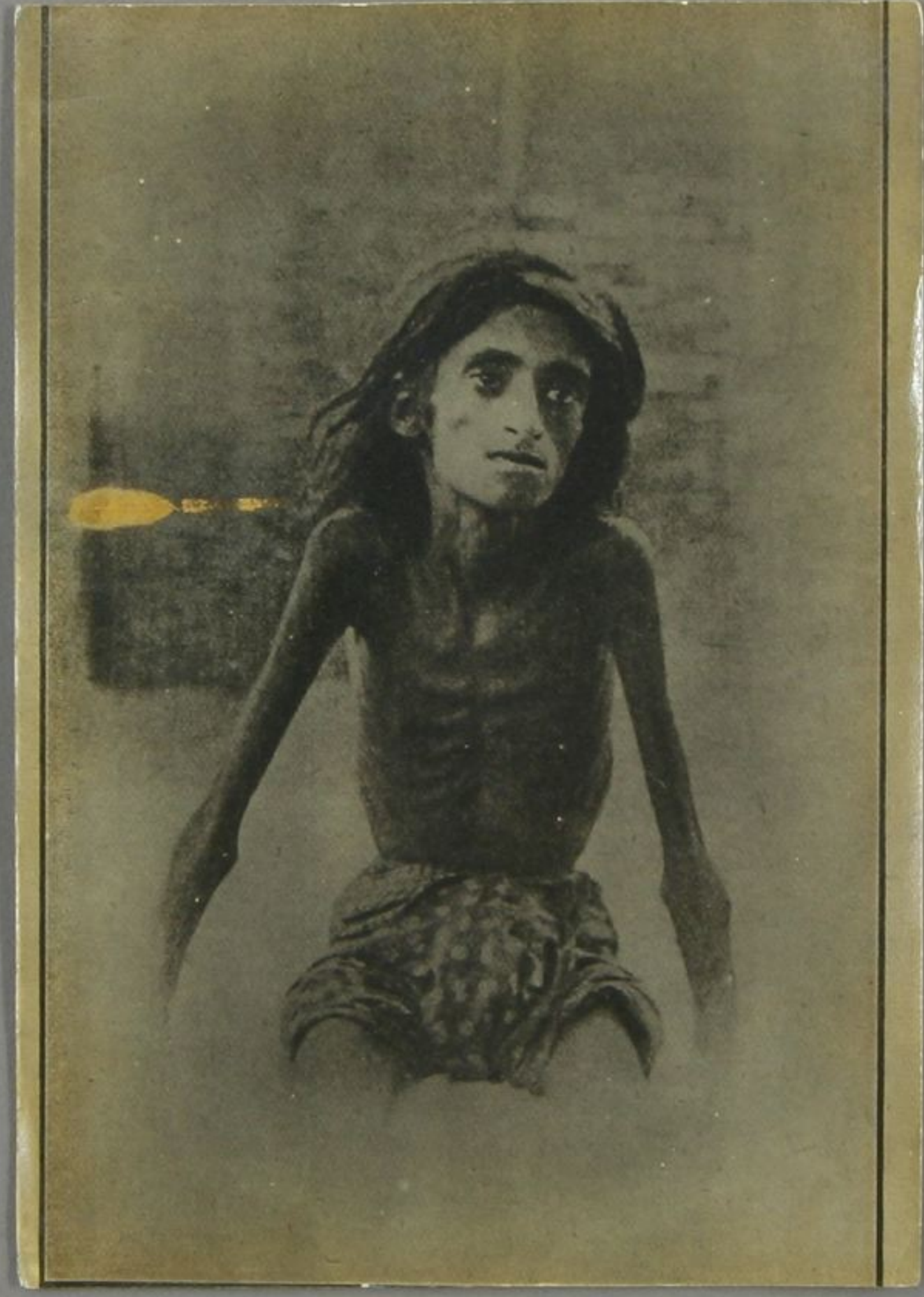
閣下侍曹



六月四日

杉山茂丸

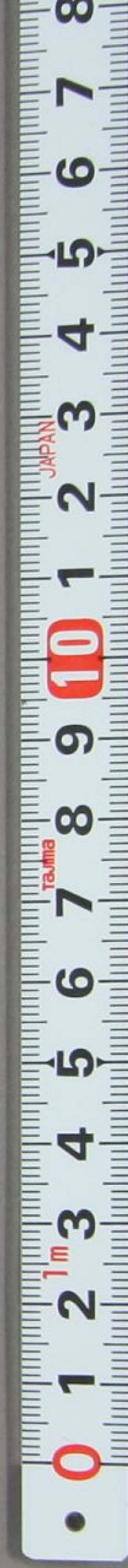




印度の惨状

飢饉に繋がる十五才の少女

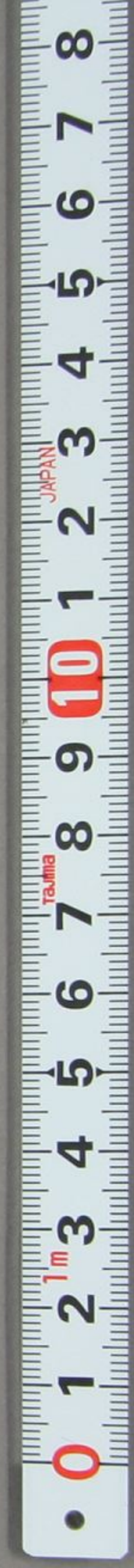
—



印度の惨状 二
途上の小児群



印度の務状 三
食物を領に集むる
七年十月



印證の傍伏

に

飢餓の遺法を老飲叶婦人
指針後五市時に七死す



Victims of British Barbarism After the Indian Revolution of 1857.



印度の惨状

五

英軍の革命黨

所分法

(公衆の面前に於て
砲口拒否にして法び
付け逐次発射粉
砕す)